

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

女性のつながりサポート事業や各種啓発事業については、指定管理者が有するノウハウや企画力を最大限に発揮し、より効果的な事業となるよう、今後も指定管理者と市が協議を行い、協議して事業を実施していく。

施設での長短による不便を感じていない女性などについて、今後の女性にとってより居心地の良い環境づくりの観点から、協議を重ねていく。

今後とも連絡を密にしながら事業を展開していく。館管理面における遵守事項等や、市の考え方についても随時共有する場を持ち、指定管理業務の適正執行に努める。

令和6年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和5年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立地域総合センター神崎	施設所管課	総合政策局 地域総合センター担当
施設住所	尼崎市神崎町14-22	竣工	S58.7(築満40年)、H27.3(築満9年)
設置目的	・地域住民をはじめとする市民相互の交流の促進 ・人権啓発意識の普及高揚の促進		
主な事業内容	市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通じた市民の学びと地域に対する市民活動の促進・支援		
指定管理者名	特定非営利活動法人 スマイルひろば	指定期間	自 R2.4.1 至 R.7.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)		
指定管理者に主として期待される事項	☒ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他()		

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性	施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）											
	今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）											
	継続しているハンセン病問題については、岡山県長島愛生園での実習の実施、中高生・子どもの居場所については、工夫を凝らした事業に取り組む。また、今まで取り組めていなかった人権問題・地域還元の事業に取り組む。											
	実施結果											
	長島愛生園でのハンセン病問題を目の当たりにして、実態を認識することができた。取り組めていなかった人権問題については「アイヌ民族の歴史」と題し、アイヌ民族の文化と差別の事象の一端に触れることができ、アイヌ民族文化と差別の深さを感じることができた。（指標②） また、地域にある西法寺住職による講話を2か月に1回の割合で実施することができた。											
	（参考）有効性に関する指標の設定及びその状況											
	指標①：（例）各講座に係る利用者満足度（単位：％）											
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	目標	-	-	-	-	-	-	80%	85%			
	実績	-	-	-	-	-	-	95%	85%			
	達成度	-	-	-	-	-	-	119%	100%			
	評価	-	-	-	-	-	-	○	○			
	指標②：新たに取組んだ差別問題の講演会参加者人数（アイヌ民族文化と差別）（単位：人）											
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	目標	-	-	-	-	-	-	60	22			
	実績	-	-	-	-	-	-	54	22			
	達成度	-	-	-	-	-	-	90%	100%			
	評価	-	-	-	-	-	-	○	○			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
施設利用者に快適に利用してもらうため、挨拶の励行と親切な対応に努めるとともに施設面においては日常の見回りを重視し、状況把握と速やかな修理に努める。

実施結果及び評価

冷暖房機器の更新及び速やかな修理に努めることにより快適な「子どもの居場所」を提供することができた。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率的性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
残された外灯のLED化に努め、グリーン購入を積極的に取り入れる。

実施結果及び評価

グリーン購入に積極的に取り組んだ。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

（参考）経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	38,360,000	38,360,000	0	人件費	26,000,000	26,362,078	-362,078
				事業費	2,760,000	2,095,485	664,515
				施設維持管理運営費	6,220,000	6,601,784	-381,784
				その他	3,380,000	3,295,371	84,629
収入計	38,360,000	38,360,000	0	支出計	38,360,000	38,354,718	5,282

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	施設の効用を最大限に発揮させるとともに、施設の管理を安定して行う。				
指定管理者自身が設定した目標	地域の拠点施設として、地域住民の活動を支えるとともにあらゆる差別問題解消に向けた施設を展開する。				

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿							地域住民等の人権啓発の拠点であり、地域コミュニティの拠点となる施設				
目標指標	指標	「人権問題に対して無関心若しくは興味がない」と感じる市民の割合(%)									
	指定期間	R2	R3	R4	R5	R6	達成状況の評価				
	目標値	-	-	21.78%	14.51%						
	実績値	30.23%	13.33%	14.51%	14.71%						

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報の保護に関する法律等や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正

危機管理―事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況―提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおり業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

関係性の構築

指定管理者と市との月例会議以外にも、随時個別の意見交換などを行っており、課題を共有している。交通の便が良くないため、利便性が高い施設を所管する小田地域課と連携した事業に取り組む。
指定管理者6団体と女性センターの合同での講演会開催においても市に協力を求める。
ダイバーシティ推進課が実施する国勢調査にも積極的に協力するなど、関係機関との連携に努めている。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

今年、新たに取組んだアイヌ民族に係る人権問題講演会については、小田地域課や教育委員会に足を運び協議するなど、多くの協力を得る活動を実施した。また、地域等との協働により、不登校中学生の居場所として、近隣農園で草花の手入れや野菜の種まきから収穫まで体験するという活動の場の提供ができた。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

交通の便が良くないことから利用者の利便を考慮する目的を含め小田地域課と連携を図った事業に取り組んだ。「子どもの居場所」としての施設に位置付けていることから浜小学校・小田北中学校との連携や、また、県立神崎工業高等学校の生徒と地域の子ども達との触れ合いを促進するため「神工工作教室」を実施。施設維持管理については、「子どもの居場所」であることから社会ルールの礎としての役割を果たすとともに施設設備への注意と監視を絶えず行う。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

今年度、多くの職員の入れ替わりもある中で、新たなテーマの講演会や不登校中学生を対象とした事業が実施できた。引き続き、今後の業務の継続や、指定管理者としての人材育成に力を尽くしてもらいたい。また、事業の実施にあたっては、継続して施設の目的に沿った自主事業の企画に努めてもらいたい。施設の維持管理については、今後、長寿命化整備を踏まえ、対応する必要がある。

双方の総括を踏まえた協働の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

子ども食堂の再開、地域交流事業の充実など、着実に実績をあげている。人権問題についてもテーマを指定し、果敢な取組に努めている。今後も、地域総合センター事業の充実に向けて、指定管理者職員の潜在能力発揮のため、方策を検討していく。

パートナーシップ

令和6年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和5年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立地域総合センター水堂	施設所管課	総合政策局 地域総合センター担当
施設住所	尼崎市水堂町2丁目35-1	竣工	S49年(築満49年)、S56年(築満43年)
設置目的	・地域住民をはじめとする市民相互の交流の促進・人権啓発意識の普及高揚の促進		
主な事業内容	市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通じた市民の学びと人権啓発意識の促進・支援		
指定管理者名	一般社団法人 水堂総合センター運営委員会	指定期間	自 R2.4.1 至 R7.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)		
指定管理者に主として期待される事項	☒ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長 ☐ その他()		

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

新型コロナウイルス感染症が5類に移行することから、参加者数の増加を目標に新規事業を展開していく。

実施結果

利用者の要望で新規4事業(水彩画教室、カラオケ教室、押し花アート、アロマ教室)を展開し、利用者数の増加につながった。

〔参考〕有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：事業満足度（単位：％）												
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	-	-	-	-	-	-	80%	85%				
実績	-	-	-	-	-	-	85%	89%				
達成度	-	-	-	-	-	-	106%	105%				
評価	-	-	-	-	-	-	○	○				

指標②：新規44事業参加者数（単位：人）												
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	-	-	-	-	-	-	-	600				
実績	-	-	-	-	-	-	-	387				
達成度	-	-	-	-	-	-	-	64.5%				
評価	-	-	-	-	-	-	-	△				

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

施設利用者に快適に利用してもらうために、施設の修繕に取り組む。

実施結果及び評価

利用者から要望のあったトイレやロビーの照明のLED化による照度アップ、和室の畳替えを実施し清潔感の向上により利用しやすい施設になるよう努めた。

○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

照明をLED化し、こまめな電気の消灯、物品購入の際には積極的にグリーン購入にするよう努める。

実施結果及び評価

積極的なグリーン購入、館内LED化を進め、照度アップで利用者が快適に過ごすことができるよう努めた。このような取組により事務や館の管理において、効率性も両立していると言える。

○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

〔参考〕経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	45,467,000	45,467,000	0	人件費	31,010,000	31,164,864	-154,864
				事業費	3,680,000	3,957,183	-277,183
				施設維持管理運営費	8,142,000	6,533,309	1,608,691
				その他	2,635,000	3,506,736	-871,736
収入計	45,467,000	45,467,000	0	支出計	45,467,000	45,162,092	304,908

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	総合センターの効用を最大限に発揮させるとともに、その管理運営に係る経費の縮減を図る。		
指定管理者自身が設定した目標	利用者の安全とサービス向上を図り、利用者ファーストの運営を行う。		

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	地域住民等の人権啓発の拠点であり、地域コミュニティの拠点となる施設					
指標	「人権問題に対して無関心もしくは興味がない」と感じる市民の割合（％）					
指定期間	R2	R3	R4	R5	R6	達成状況の評価
目標値	-	-	32.77%	32.77%		
実績値	32.77%	-	34.41%	22.09%		

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正

危機管理一事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況一提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか

年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	要改善

関係性の構築

月1回の意見交換会を行うほか、適時の報告・連絡・相談を互いに密にしている。

協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）

センターを利用している子どもに食事をきちんと摂れていない子がおり、学校へ相談した。その経緯から「子ども食堂」の運用を考え、民生児童委員の会議で提案したところ、NPO法人子どものみらい尼崎と尼崎市社会福祉協議会の協力を得て子ども食堂が実現し、現在月2回の開催を継続している。人権啓発パレードでは毎年、南武庫之荘中学校吹奏楽部に一般の方を加えセンターから立花商店街へのパレードを実施しており、今年は商店街の方々からパレード進行のご協力を得て、アーケードに横断幕を掲げていただき、人権啓発意識の普及高揚につながった。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）

施設の老朽化が進行する中、多くの利用者の声に耳を傾け、要望の多い順に修理、修繕を進めた。利用者の多い多目的ホールの修繕の要望が多いものの、大規模であり修繕費がかかるため、市との協議を進めたい。管理運営体制については、職員の補充・育成の観点で、即戦力につながる指定管理事業等の経験者採用を試みたが、採用には至らなかった。しかしながら、新規採用職員が多様な経験を活かし、マニュアルの作成・整備等を進めている。今後は、ミーティングによる事業計画や課題の共有、OJTなどを通した新規採用職員の育成や現職員の意識改革を図り、効果的な事業運営、業務の効率改善など、引き続き安定的に業務を継続するために、重点的に取り組む必要がある。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

協働による事業の取組については、一定の成果をあげてきていると思われるので、引き続き努力してもらいたい。管理運営体制については、昨年、市が職員の育成等に関する改善方策を求めたところ、指定管理者から見直しの提案を受けた。改善に向けての取組を進めているが、今年度も多くの職員の入れ替わりがあるなど、まだ十分な成果が出ているとは言えない状況である。喫緊の課題として、引き続き取り組んでもらいたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）

電気料金等諸経費の高騰及び修理、修繕については随時市と協議し対応していく。地元の各種団体との連携強化について引き続き取り組み、地域住民や利用者の意見を適宜聴取して分析し、市と協議の上で施設運営に反映していく。管理運営体制については、喫緊の課題であるとの認識のもと、重点的に取り組んでいく。

令和6年度 指定管理者制度モニタリング評価表（令和5年度末時点）

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立地域総合センター今北	施設所管課	総合政策局 地域総合センター担当
施設住所	尼崎市西立花町3丁目14-1	竣工	S46.3(築満53年)
設置目的	・地域住民をはじめとする市民相互の交流の促進 ・人権啓発意識の普及高揚の促進		
主な事業内容	市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通じた市民の学びと人権啓発意識の促進・支援		
指定管理者名	特定非営利活動法人 人権センター東今北	指定期間	自 R2.4.1 至 R7.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)□
指定管理者に主として期待される事項	☒ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 ☒ 効率的な施設維持管理運営 □団体等の担い手としての成長 ☐ その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）
今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）
指定事業の実施に当たっては、地域住民(市民)の参画を得ながら、より効果的に実施していく。

実施結果
主な指定事業である「地域交流文化祭」や人権啓発推進委員会に関わる事業などを企画段階から市民の参画を得て実施するとともに、自主事業については、地域住民のニーズに沿った健康増進や保健衛生に関わる事業を企画・実施している。(指標①)。子ども向けには多種多様な講座を企画した結果、応募者が多く、やむを得ず抽選する講座も増えている。その要因は、関係5校への公募チラシ配布が挙げられる(指標②)。今後は、子ども対象の講座の拡大が望まれる。

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

有効性

指標①：全講座に関する受講率（単位：％）（計算式：申込者数÷定員）											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	82.14%	92.12%			
実績	-	-	-	-	86.16%	82.14%	92.12%	106.57%			
達成度	-	-	-	-	-	-	112%	116%			
評価	-	-	-	-	-	-	○	○			

指標②：子ども対象とする講座受講率（単位：％）（計算式：申込者数÷定員）											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	82.29%	102.86%			
実績	-	-	-	-	86.44%	82.29%	102.86%	117.24%			
達成度	-	-	-	-	-	-	125%	114%			
評価	-	-	-	-	-	-	◎	○			

効率性

◎目標を大きく上回った/上取値に近い実績で推移している。○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

前年度の利用実績を踏まえて、より効果的な事業を実施することにより、利用者サービスの向上を目指す。

実施結果及び評価

施設の老朽化が進む中、利用者の目線に立ち、また要望を聞き取り、市民が利用しやすいように施設設備の修繕（料理室の雨漏り）、増設（分館集会室2のスロープ）を実施し、市民サービスの向上につながった。

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

物品を購入する際には、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に準拠し、適合する環境負荷の少ない商品を購入すること（グリーン購入）を検討する。また、不要な電気の消灯等に努めていく。

実施結果及び評価

日常においては、職員の節電・節水等を意識しながら業務を行い、利用者にも呼びかけ理解と協力を得ている。また、可能な限り印刷物の両面使用や内部資料の裏紙利用を推進している。

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

〔参考〕経費の状況（単位：円）

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	46,314,000	46,314,000	0	人件費	29,780,000	31,566,664	-1,786,664
				事業費	2,500,000	2,099,371	400,629
				施設維持管理運営費	11,034,000	11,379,988	-345,988
				その他	3,000,000	3,259,901	-259,901
収入計	46,314,000	46,314,000	0	支出計	46,314,000	48,305,924	-1,991,924

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項（選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由）

重視された事項	施設の効用を最大限に発揮させるとともに、施設の管理を安定して行う。
指定管理者自身が設定した目標	地域の特性を最大限に発揮できるようにコーディネート役を果たし、地域プラットホームになるように事業展開する。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	地域住民等の人権啓発の拠点であり、地域コミュニティの拠点となる施設					
目標	「人権問題に対して無関心もしくは興味がない」と感じる市民の割合(%)					
指定期間	R2	R3	R4	R5	R6	達成状況の評価
目標値	-	-	36.65	35.00		-
実績値	38.46	36.65	35.00	25.23		

適正性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	要改善
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
パートナーシップ	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
	選定時の提案内容が実施されているか	適正
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正
	関係性の構築	
	指定管理者と市との月例会議以外にも、適宜、相談や調整を行っている。	
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）	
	市と月1回の意見交換会を行い事業を行ってきた。また、関連施設の新転任職員研修をはじめ、市と連携し尼崎市新規採用職員研修(人材育成担当)等の人権研修会を実施してきた。小集団学習グループ(社会教育課)の活動支援や学校関係事業においては、不登校児童への居場所づくり支援にも取り組んできた。さらに、地域福祉の観点から、地域包括支援センターや社会福祉協議会といった、地域における重層的課題の解決を図る会議体に参加し連携を図っている。	
	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）	
	老朽化している施設の維持管理においては、利用者の目線に立った設備の充実、さらには安全面にも意識した維持管理を図ってきた。また、大規模修繕でも尼崎市と状況を共有した上で協議し進めてきた。今後においても、老朽化が進んでいくことは必然であり、引き続き市との協議を重ね利用者の安全・安心を目指した維持管理に務める。	
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）	
	市と適宜協議を重ね、老朽化した施設の適切な維持管理に努めているが、法定点検の実施漏れが1件認められた。今後、実施時期を早めて確実に実施する等の対策が必要である。太鼓関連事業等の伝統のある事業について、一部、自主事業としての取組を進めている。引き続き継続・発展に取り組んでもらいたい。	
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性（単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載）	
	今後は指定事業全体については、着実に実施・推進していくとともに、自主事業の充実に取り組む。施設維持管理については、引き続き協議していく。	

施設概要

(1) 基本的事項

施設名

尼崎市立地域総合センター南武庫之荘

施設所管課

総合政策局 地域総合センター担当

施設住所

尼崎市南武庫之荘11-6-15

竣工

S57年4月1日(築42年)

設置目的

「地域住民をはじめとする市民相互の交流の促進」「人権啓発意識の普及高揚の促進」

主な事業内容

市民相互の交流の促進、講座や講演会等を通じた市民の学びと人権啓発意識の促進・支援

指定管理者名

公益社団法人 尼崎人権啓発協会

指定期間

自 R2.4.1 至 R7.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類

A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)

指定管理者に主として期待される事項

☒ 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施
☒ 効率的な施設維持管理運営 ☐ 団体等の担い手としての成長
☐ その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組（指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施）

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

新型コロナ・インフルエンザ感染防止に留意しながら、地域住民の参画・連携の更なる推進に取り組む。

実施結果

地域ボランティア団体と協働して、こども食堂事業でお弁当配布やフードパントリーなど、状況に応じて取り組んだ。

(参考)有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：アンケート等による利用者満足度（単位：％）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	84%	84%			
実績	-	-	-	84%	85%	84%	81%	83%			
達成度	-	-	-	-	-	-	96%	99%			
評価	-	-	-	-	-	-	○	○			

指標②：なかよし食堂 参加者（単位：人）

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標(参加者)	-	-	-	-	-	-	1,200	1,200			
実績(参加者)	-	-	705	1,223	654	1,128	1,684	1,308			
達成度	-	-	-	-	-	-	140%	109%			
評価	-	-	-	-	-	-	◎	○			

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を（概ね）達成した、△目標未達（事情あり）、×目標未達（事情なし）

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

令和5年度実施の長寿命化工事結果を踏まえ、施設の什器備品の更新や拡充を図る。

実施結果及び評価

工事の影響で一部の講座等が休止となったが、来館者対応等に支障のないよう体制を整えるとともに、職員が積極的に外に出向く出張相談や、センターの広報活動を強化するなど、市民サービスの維持・向上に努めた。

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した（特別な事情あり）、×低下した（事情なし）

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標（前年度末又は指定初年度当初に協議し決定）

グリーン購入を実施するとともに、節水、不要な電気の消灯・照明の間引きに努めた。

実施結果及び評価

不要な電気の消灯、照明の間引きを実施しつつも、利用者にとって不便を感じさせることなく、効率性と環境に配慮した施設管理を両立した。こういった取組は日常の館の管理に付随して行われるもので、効率性も両立していると言える。

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているもまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考)経費の状況（単位：円）

収入(4月～3月実績)				支出(4月～3月実績)			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	45,218,000	45,218,000	0	人件費	28,216,000	27,452,091	793,909
				事業費	3,050,000	4,142,223	-1,092,223
				施設維持管理運営費	10,384,000	9,901,379	482,621
				その他	3,538,000	4,581,350	-1,043,350
収入計	45,218,000	45,218,000	0	支出計	45,218,000	46,077,043	-859,043

有効性

効率性

施設ありたい姿	地域住民等の人権啓発の拠点であり、地域コミュニティの拠点となる施設						
目標指標	指標	「人権問題に対して無関心もしくは興味が無い」と感じる市民の割合(%)					
	指定期間	R2	R3	R4	R5	R6	達成状況の評価
	目標値	-	-	19.67	19.67		
	実績値	20.78	19.67	24.00	23.41		

施設管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	
収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおりに業務を行ったか	
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

市民運動武庫地区推進協議会主催の令和5年度第19回武庫まつりの人権啓発コーナーでパネル展示を行った。また武庫地区地域福祉ネットワーク会議の委員として、ついで交流会の進行を務めた。地区では、第1連協地区地域福祉会議の事務局を担当している(令和6年度は防災マップを更新する予定)。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項（総括）

令和5年度実施の長寿寿命工事内容について、これまで以上に指定管理者と連絡を密にするとともに、現在実施している事業をできるだけ休止することのないよう、利用者への連絡、調整に努めたが、路面の掘削、壁面や天井の剥離など工事内容によって、事業の中止など生じた。工事終了後の新たな施設も活用しつつ、訪問相談やコミュニティ連絡版の活用など、引き続き、地域総合センターの内外での事業運営を期待する。

電気料金等諸経費の高騰及び修理、修繕については随時情報交換し対応していく。地域住民の参画・連携の更なる推進については引き続き取り組んでいく。定期的に実施している「地域総合センター運営委員会」を継続して開催し、地域住民や利用者等の意見を反映するとともに、地域課題についても積極的に取り組んでいく。他の指定管理者と情報の共有や連携を深め、地域総合センター全体の質の向上に取り組んでいく。

パ ー ト ナ ー シ ッ プ	定期的に意見交換会を行うほか、適時の報告・連絡・相談をお互いに密にしている。
	協働の状況（グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況）
	高齢化が進む地域の課題について、尼崎市疾病対策課と相談し、センターでゲートキーパー講座を開催した。またセンター利用者に自転車利用者が多いことを踏まえ、自転車運転時のヘルメット着用徹底について、尼崎北警察署の協力のもと、交通課署員による講話と歩行環境シミュレーターを使った疑似体験などを実施した。
	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項（総括）
	日々広がる地域の各種団体等との関係を深めるよう努め、しばらく開催できていなかった人権週間（街頭啓発キャンペーン）を地域一体となって開催できたことは、大きな成果と考える。また、啓発事業の実施手法について検討を重ね、Zoomを活用した効果的な講演会の実施について実績を重ねることができた。今後とも地域課題の把握に努めるとともに、関係団体との対話をより深く、更に効果的、効率的なセンター運営を進めていく。施設維持管理については、要修繕箇所が増加傾向にあるので、安全安心な施設維持について、市の協力をお願いしたい。